

## 第3回吹田市健都イノベーションパーク利用事業

### (第2アライアンス棟(第I期)整備・運営事業)

#### 事業者選定会議 議事要旨

##### 1 日時

令和7年9月29日(月)午後3時00分から午後4時00分まで

##### 2 出席者

健康医療部長(委員長)、総務部長、都市魅力部長、児童部長、福祉部長、都市計画部長(委員長代理)、学校教育部長

##### 3 案件

提案内容の評価

##### 4 議事概要

- (1) 委員長より、第2回選定会議における外部有識者4(※)からの意見に基づき、同会議後に応募団体から徴した車両の安全運行に関する追加資料及び当該追加資料に対する外部有識者4からの次の追加意見について、資料として机上配布されている旨の案内があった。

※外部有識者の呼称は、第2回選定会議に係る議事要旨と同じ。

###### <外部有識者4からの追加意見>

事業者Bの摂津市道路管理課、摂津警察署と十分に協議を行い、必要に応じてミラー設置等、周辺道路の安全対策に協力する旨の提案に関しては、検討が不十分であり、実現可能性がないと考えられる。

摂津市において、道路上のカーブミラー設置は道路交通課が所管しており、道路管理課所管と誤認していること及び摂津市HPで道路交通課が記載している「カーブミラーの設置基準を基にした判断基準例について」を参照すれば、当該交差点にカーブミラーは設置しないと判断されることは、容易にわかるため、本項目については、検討が不十分であり、実現可能性がないと考えられる。

また、委員長より、第2回選定会議における外部有識者からの意見の中で、実験機器を集積した専用の実験室の整備や、それらを使用可能な研究者の配置がなければ実現性が乏しいとする旨の意見があったことに関して、研究に関する識見を有する

外部有識者に対し、事務局を通じて追加意見を求めた旨の報告があった。当該意見を評価の参考とすることについて、採決を行った結果、全会一致で賛成されたことから、事務局より追加意見の内容について次のとおり報告を行った。

＜研究に関する識見を有する外部有識者からの追加意見＞

研究・開発のための施設や設備、人員体制が充実していれば、多様な研究・開発への対応が期待できる。その一方で、今回提案のあった研究・開発、社会実装の実現にあたっては、必ずしも実験室や実験機器の充実や、それらを使用可能な研究者の配置を要するものではなく、それらを要する研究・開発においても、必要に応じて健都内の他の施設や研究機関等と連携するといった方策も考えられる。

- (2) 応募団体 A 及び応募団体 B (※) の提案内容（応募書類等の記載内容及び第 2 回選定会議におけるプレゼンテーション及び質疑への応答の内容）について、第 2 回選定会議における外部有識者からの意見（上記 2 件の追加意見を含む。）を踏まえ、委員による評価を行った。

※応募団体 A 及び応募団体 B の呼称は、第 2 回選定会議に係る議事要旨と同じ。

- (3) 事務局より、各委員による採点結果を集計した結果、1 位と評価した委員数が多い順に、応募団体 B、応募団体 A となり、2 団体ともに、必須要件の項目で 0 点とした委員が過半数ではないこと及び各委員の評価点数の平均が 60 点を超えていたことを報告した。
- (4) 公募プロポーザル実施要項の規定に従い、1 位と評価した委員数が最も多い応募団体 B を優先交渉権者とし、応募団体 A を次点者とするを全会一致で決定した。

## 5 その他

優先交渉権者の選定後、委員より次のとおり意見が付された。

＜委員からの意見＞

提案内容が実現することを前提に評価しているので、優先交渉権者に選定された応募団体には、提案書に記載された内容はもとより、質疑応答の中で実施すると発言されたことも含め、確実に事業を実現してもらいたい。